

1. 生活安全推進事業について

現在、紙で配布している「こども110番の家」マップについて、デジタル化（DX化）の推進と掲載内容の充実を図られたい。それにあたっては関係各所の連携を強化されたい。

2. 公共交通について

名鉄広見線は新可児－御嵩駅間で「みなし上下分離方式」による存続の協議が図られているが、犬山－新可児駅間でも活性化が必要である。鉄道は住民及び学生などの移動並びに地域経済を支える不可欠な基盤である。行政が主導して利用促進事業、駅周辺のにぎわい創出、バス等との接続強化、近隣自治体との連携推進など、鉄道の存続と地域活性化のための予算を確保されたい。

3. 児童生徒の登下校時の熱中症対策について

児童生徒の登下校時の安全確保のため、あらゆる熱中症対策に必要な予算措置をされたい。それにあたっては、関係各所で連携を強化し、全庁的に取り組まれたい。